

令和6年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8	議席 番号	13	氏名	辻 村 岳 瑠 議 員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	ベッドシェルター設置のための補助金制度の導入について	<p>経済的な理由により、住宅の耐震化が進まないケースが存在している。特に、在宅介護をしている世帯や、避難行動要支援者がいる世帯の住宅が耐震化されていない場合、地震発生時に速やかな避難が困難であることから、生命の安全を確保するため、ベッドシェルター設置のための補助金制度の導入を提案する。以下、伺う。</p> <p>(1) 当市の耐震化率を伺う。</p> <p>(2) 令和6年能登半島地震の被災地への支援活動に参加した際、担当課としての現場の考察と見解を伺う。</p> <p>(3) 令和7年度で終了する耐震化補助制度の今後を伺う。</p> <p>(4) 富士宮市耐震シェルター整備事業費補助金交付制度の執行率を伺う。</p> <p>(5) 在宅介護者数、避難行動要支援者数を伺う。</p> <p>(6) 新耐震基準を満たしていない住宅に対して、ベッドシェルター設置のための補助金制度の導入が必要と考えるが市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	訪問介護の人材不足と介護人財確保について	<p>訪問介護員の有効求人倍率15.53倍（富士宮市の常用有効求人倍率1.11倍）が話題になった。さらに、労働実態調査では、訪問介護員の平均年齢は54.4歳、60歳以上は37.6%、70歳以上は12.2%を占めた。このような状況から、地域包括ケアシステムの要、訪問介護の深刻な人材不足が課題となっていることが分かる。また、訪問介護報酬のマイナス改定という事態も発生し、この課題に対して何らかの市の対応が必要だと考え、以下伺う。</p> <p>(1) 当市の訪問介護事業所数の推移と現状について伺う。</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムと訪問介護サービスの関係性を伺う。</p> <p>(3) 市内高等学校の福祉科に修学支援金制度を導入し、福祉に興味のある生徒に対して経済的な支援を行い、訪問介護員としてのキャリア形成を支援することで、訪問介護の人材不足問題解決の一助となると考える。市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
3	食卓を囲んでの給食環境の必要性について	<p>福祉現場では、一人で食事をする高齢者はうつ傾向が多いと報告され、みんなで食事をとる共食を取り入れている。食卓を囲んでの給食は、こどもが抱える課題にも対応できる社会性や協調性を身につける環境になると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 複数の机を組み合わせて食卓になるようにし、共に食べるという給食環境について伺う。</p> <p>① 保育園の給食環境について。</p> <p>② 小中学校の給食環境について。</p> <p>(2) 学習指導要領の食育の観点から、一緒に食事をすることは重要であるという教育の方向性はあるのか伺う。</p> <p>(3) 感染症へのリスクと、こどもの共食により得られるメリットを比較し、食卓を囲んで給食を食べる環境整備の考えについて伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長